

## 応募内容(競技部門用)

<b>No.1</b>	<b>タイトル</b>	PHUC HOI
<b>No.2</b>	1) 予定開発期間： 5 ヶ月 2) 予定開発人員： 10 人	
	実現方法	
		<p>本作品は、入力部分、特徴抽出部分、組み合わせ部分、解答出力部分の4つの部分から構成される。以下に各部分の基本仕様を示す。</p> <p>1. 入力部分 画像数、縦横の分割数を入力し、断片画像をダウンロードする。</p> <p>2. 特徴抽出部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色、線分などの特徴値を抽出し、次の段階の準備を行なう。</li> <li>・色による特徴抽出は、基本的に断片画像と他の断片画像とのRGB値を利用する。</li> <li>・断片画像全体のRGB値の平均を求めて、差の絶対値に近いピースから比較する。</li> <li>・線分による特徴抽出は、ピクセル単位で色の急激な変化を見て、線分を抽出するもので、線分を見て不自然にならないように断片画像をつなげていくものである。</li> </ul> <p>3. 組み合わせ部分</p> <p>基本的に以下の順で外側から組み合わせていくが、各特徴によって組み合わせ方を変える場合もある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 外枠の四隅に断片画像を配置した後、その四隅に接する部分から外枠を復元する。</li> <li>(2) その内側での四隅に断片画像を配置し、その四隅の周りから枠を復元する。</li> <li>(3) 上の(1), (2)を続けていくことにより、最後には画像が復元された状態にする。</li> <li>(4) その後、位置がおかしい断片画像を探し、訂正していく。</li> </ol> <p>4. 解答出力部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像を整列させたものとファイル名を並べたものを出力する。</li> <li>・出力された解答で人間から見て明らかに間違っているものは、クリック等でコンピュータに教えることができるようにする。</li> </ul>
<b>No.4</b>	使用ソフト	
		<p>インターフェイス部分： VisualStudio.NET それ以外： Visual C++ 6.0</p>
全国高等専門学校 第15回プログラミングコンテスト：新居浜		